



昭和五十六年度各会計決算を認定

一般会計 歳入 〇三、一九、四八五、四九四円

歳出 〇一、〇六七、八七〇、二七三円

第111回 定例会

第一日(十一月二十四日)

区長の挨拶、議会選出監査委員平沢太郎議員の「昭和五十七年度福祉施設・社会教育館等及び財政援助団体監査」の結果報告後、各党各会派を代表し、次の五名が質問しました。

田中章雄議員(自由民主党) 倉持伝次議員(公明党) 今井重利議員(共産党) 逸見英幸議員(民社党・新自由クラブ) 野中栄治議員(社会党)

第二日(十一月二十五日)

前日に引き続き、次の六名が質問しました。

須賀寿雄議員(民声クラブ) 島崎義雄議員(自由民主党) 鹿浜 清議員(自由民主党) 小久保雅捷議員(公明党) 五十嵐英生議員(共産党) 大神田賢次議員(自由民主党)

次に昭和五十六年度東京都足立区一般会計歳入歳出決算の二件の決算議案を審査するため、決算特別委員会を設置し、付託しました。



スタート// 区民ロードレースから

昭和五十七年第四回足立区議会定例会は、十一月二十四日に開会し、会期二十一日間、十二月十四日に閉会しました。今定例会では、昭和五十六年度東京都足立区一般会計歳入歳出決算他二十五件の区長提出議案、三件の議員提出の意見書、区民からの請願、陳情五十二件を審議しました。区長提出議案はすべて原案のとおり可決しました。また、各党各会派の代表十一名が質問を行いました。

続いて、昭和五十七年度東京都足立区一般会計補正予算(第二号)他二十二件の区長提出議案及び区民からの請願・陳情を所管の各常任、特別委員会に付託しました。

第三日(十二月十四日) 休会中、決算特別委員会で審査した昭和五十六年度各会計決算は、清水大蔵委員長の審査結果報告後、いずれも認定することに決まりました。

また、昭和五十七年度東京都足立区一般会計補正予算(第二号)他区長提出議案は、すべて委員会審査報告のとおり原案可決となりました。区

民からの請願・陳情は三ペーシのとおり決まりました。最後に、運営委員会委員及び各派幹事長が提出した「保健所増設認可に関する意見書」、「公立病院の誘致促進に関する意見書」を委員会付託省略で採決し、いずれも全会一致で可決しました。なお、第二回臨時会に提出され、継続審査となった「国家公務員給与引き上げの人事院勧告完全実施を求める意見書(共産党及び社会党提出)」は提出者から撤回の請求があり、撤回を承認しました。

年頭所感

新年を迎へ所感の一端をのべてさせていただきます。私達は、昨年の第二回臨時会におきまして、議員全員の推挙により、議長、副議長に当選就任をいたしました。微力ではございますが、区民の負託にこたえ、全力を傾注して参る所存でございます。現在、区政を取りまく環境は極めて厳しく、財政状況においても、区民の皆さまの多様な要望を十分に満たすことも困難な状態にあります。議会といたしましては、地方自治の本旨の実現ということ念頭におきまして、住民生活の向上に努めて参りたいと存じます。なにとぞ区民の皆さまの理解と協力を切に願います次第でございます。



議長 鈴木 進



副議長 竹ノ下資夫

意見書

保健所増設認可 公立病院誘致の意見書提出

保健所増設認可に関する意見書(要旨)

当区は人口六十三万を有し、中小零細企業や低所得者も多く、平素より公衆衛生行政の充実を最重点施策の一つとして対処している。

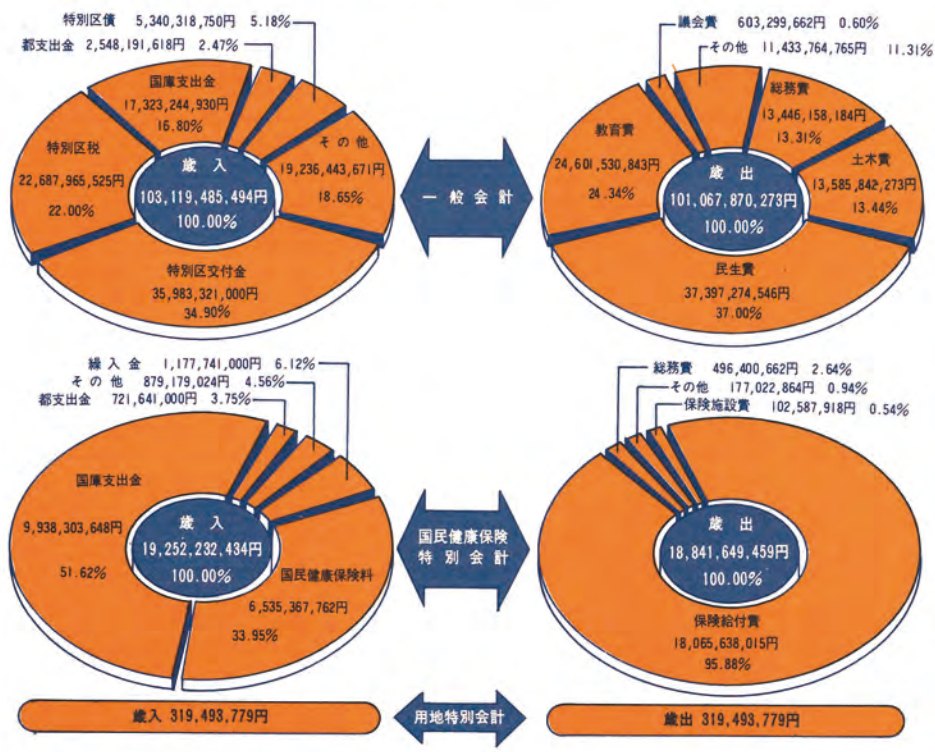
他方、区内には食品衛生関係業者約二万軒、環境衛生関係業者約三千軒を擁し、保健所の役割はますます重要となっている。しかるに、昭和五十七年千住保健所設置以後の設置がなく、現在二か所の保健所では十分な対応が困難になってきつつあり、保健所施行令によっても適正配置と思われない。よって、早急に最低一か所の保健所増設認可を要請する。(厚生大臣あて)

公立病院の誘致促進に関する意見書(要旨)

当区の医療施設は、医療法に基づく総合病院は私立二か所しかなく、救急・専門的な総合治療を受ける場合、遠い区外の病院に頼らざるを得ない。病床数及び医師数は都平均と比べても極めて低く、病床数約七割、医師数約五割の状況にある。

区民の健康を保障していくには、身近なところで受けられる医療体制の確立を図らなければならない。よって、一次、二次医療機関の施設はもちろん、特に二次、三次医療を扱う公立病院の誘致を要請する。(厚生大臣、都知事あて)

昭和56年度 各会計決算



意見の分れた案件

(注) ○賛成 ×反対

件名	自由民主党	公明党	共産党	民社党・新自由クラブ	社会党	民声クラブ	結果
昭和56年度東京都足立区一般会計歳入歳出決算	○	○	×	○	×	○	認定
昭和56年度東京都足立区国民健康保険特別会計歳入歳出決算	○	○	×	○	×	○	認定
昭和57年度東京都足立区一般会計補正予算(第二号)	○	○	×	○	○	○	原案可決
昭和57年度東京都足立区老人保健医療特別会計予算	○	○	×	○	×	○	原案可決

自由民主党

財政基盤の確立で基本構想を実現せよ

【問】足立区基本構想実現にあたり、高齢化社会への対応は避けられない。来るべき高齢化社会では莫大な投資的経費を要するが、基本構想を実現可能とするために独自の財政基盤の確立に力点を置くべきかと思うがどうか。

【答】長期的な財政計画を立ててはいるが、内部努力による財源捻出、財源の安定的確保のための国、都への要望が必要と思われる。

足立をどんな都市にするのか

【問】二十一世紀を目指した足立区基本構想は抽象的かつ夢多き構想で、現実にはかならず足立が創造されるか疑問だ。区長はどのような足立を想像し、いかなる都市を想起しているのか。

【答】特に下水道などの生活基盤の整備、活力とふれあいのあるまちづくり、福祉の充実、災害に強いまちづくり、教育の充実を重点に推進し、これに文化性を導入したい。総合庁舎建設の構想を示せ

【問】現庁舎は昭和四十二年の建設で、現在、狭い過密なため区民の要望に応えられない状態である。

【答】区長は総合庁舎建設に積極的姿勢を示しているが、その構想プランを示せ。

区長は総合庁舎建設に積極的姿勢を示しているが、その構想プランを示せ。

【答】本庁機能は行政の近代化、効率化、自治センターとしての機能を発揮出来るよう極力、集中、統合すべきである。庁舎建設は区有地を中心に多くの資金をさくことなく、また行政サービスの遅滞のないよう慎重に進めたい。

【問】現在の保護基準は勤労意欲を失わせていないか

【答】保護基準が高くなったため、働く能力のある者が生活保護に頼り、労働意欲、自立自助の精神を失い、これが福祉政策を歪めてしまうと思うがどうか。

保護基準は高くなったため、働く能力のある者が生活保護に頼り、労働意欲、自立自助の精神を失い、これが福祉政策を歪めてしまうと思うがどうか。

【答】保護基準は、物価の上昇等に伴い、逐年所要の改定が必要と考える。なお、趣旨を体して、今後とも適正保護の実施に一層努力したい。

【問】青少年非行にどう取り組むか

【答】青少年の非行は今日、漸増の傾向にある。練馬区では「通学路の朝のおはよう一声運動」など中学校ごとに、地域ぐるみで非行防止に取り組んでいる。

【問】当区でも教育委員会と学校、家庭、地域とが一体と

【答】当区でも教育委員会と学校、家庭、地域とが一体と



なり非行防止に取り組んでいるが、施策の適切かつ効果的な取り組みに一層努めたい。

【問】既成市街地における環境整備の具体策を示せ

【答】既成市街地における環境整備対策は抽象的である。環境整備を図るためにも、過密住宅地での住宅・工場混在や細街路整備手法の具体的な計画を示し、推進せよ。

既成市街地における環境整備の具体策を示せ

【問】現在実施の住工混在地区整備及び細街路現況図作成のための調査をもとに解決策を検討し、整備を図りたい。

【答】総合行政であるまちづくり行政は、タテ割組織を越えた速やかで、適切な対応が不可欠である。

【問】関係部課によるプロジェクトチームの設置等総合的な行政に努めているが、総合的調整機能をもつ制度を検討する必要があるかと思う。

【答】舎人森林公園の進展計画はどうなっているか

【問】舎人森林公園早期促進の中、国や都との交渉状況、今後の進展計画はどうか。

【答】また、公園内の整地公園を町会等に解放し、雑草駆除対策としたらどうか。

関係部課によるプロジェクトチームの設置等総合的な行政に努めているが、総合的調整機能をもつ制度を検討する必要があるかと思う。

【答】現在、計画面積の五十七・五％の用地取得率である。よって、都に対し予算づけと先行取得による用地買収の両面で早期に用地取得をするよう毎年陳情を行なっている。一時解放は本年一か所を増設し、全体で七か所となった。古い公園を生きかえらせ、自然公園をつくれ

【問】新構想（古い公園の改造）により、次のような自然公園を設置、計画せよ。

- ①チビッコ運動公園
- ②緑と水と芝生の自然公園
- ③アスレチック公園等

【答】今後の公園造成においては、ご趣旨に沿って地域の要望も受け、対応したい。下水道完全普及にむけ、速やかな対応をせよ



【問】当区の公共下水道の普及率は僅か二十七％で、二十三区中最低である。調和のとれた心豊かな住みよい足立のため、進捗方途について速やかな対応をせよ。

【答】都は五十八年度末中川処理場の稼働開始、本年七月から荒川以東一区一建設事務所態勢により事業進捗を計っている。区においても都の長期計画でいう六十年代区部完全普及に向け、努力したい。

【問】台風十八号により特に西北部は大きな被害を受けた。既に十年近く懸案となつて熊の木ポンプ場が完成していれば、被害をゼロに抑えられたであろう。

【答】区は都に協力し、代替地のあつた等を行って、代地地のあつた等の全面的な了解を得られていない。今後とも早期完成のため、都に要請及び協力したい。

【問】排出土砂の処分地を確保し、水路浚渫工事を再開せよ

排出土砂の処分地を確保し、水路浚渫工事を再開せよ

【問】水路浚渫工事により発生する土砂は産業廃棄物か。

【答】廃棄物の処理及び清掃に関する法律を遵守し、適正な業者を審査し、また、区でも処分地を確保し工事を再開せよ。

【問】一各都道府県の判断に任ざれており、都及び警視庁は実態から産業廃棄物であると指導している。

【答】二都の指導により適正に処理すべく、業者と協議している。区が自ら処分地を設置することは困難である。問題解決後早急に工事を再開したい。

【問】コミュニケーション施設を生涯教育の場とせよ

【答】生涯教育を地域の中に浸透させ、更に地域ぐるみの活動にするためコミュニケーション施設（住区センター・社会教育館等）を住民のより身近かな参加と触れ合いのもとで学べる生涯教育の場とせよ。



【問】時代のニーズに対応する施策の体系化を図り、コミュニケーション施設が真に学習の場として機能するよう方向づけたい。

【答】青少年対策はわかりやすいものにせよ

【問】青少年対策は、行政ごとの施策（地区対・地少協・健生）は住民にわかり易く効果的でなくてはならない。非行対策をはじめ青少年の育成の現在のあり方をより合理的、強力なものに変えていく必要があると思うがどうか。

【答】現在、社会教育委員の会議で「青少年関係組織のあり方」を検討中なので、その答申を待って、効率的な運用をはかっていきたい。

新財源の確保をはかれ

【問】区民期待の足立区基本構想実現をめざすとき区の財政力の弱さが指摘される。都区財調制度に依存する当区で最も重要な課題は財政問題である。そこで新財源確保について見解を問う。

【答】当区は都区財調依存度が高いが、社会生活基盤の早期整備への期待は高い。これら事業には膨大な資金がいるが、国の財政危機の中、国庫支出金の確保も期待できない。財源確保について幅広く検討する必要もあり、市民債のよななものも検討してみたい。

【問】子供に区を理解してもらうとともに子供からみた足立区はという観点から、自主的に区のお知らせの編集を広報課がバックアップして行わないか。区制五十周年を機に発行してはどうか。

【答】行政広報充実という面から子供が主体的に編集、発行することは意義のあることだが、非常に難しい点がある。学校新聞等へのアドバイスは希望があれば教育委員会と協議して実施したい。

【問】工事等の発注につき、その指名は極力同一資格、等級区分内の者による競争を確保するという政府の契約方針を尊重すれば、足立区指名業者選考委員会規程第七條後段の運用は矛盾すると思うがどうか。

【問】現代の青少年は自分の悩みを親、教師など周囲の大人に相談できずにいる。一方ラジオ等のテレホン相談にみられるように電話によるコミュニケーションは得意である。専門の電話と専任の相談員をおき電話相談の充実を図れ。

【答】警視庁の電話相談は二十四時間体制で行われている。足立区では教育センターで行っているが、主に親からである。適切な人員の確保、相談時間等難しい問題もあるが、教育センターでの電話相談体制を含め検討したい。

心身障害者休養ホームを建設せよ

【問】足立区としても世田谷区のように心身障害者とその家族に少しでも安らぎを与えるため心身障害者休養ホームを建設すべきではないか。

【答】心身障害者ホームは都の事業として実施している

婦人会館の建設構想を問う

【問】婦人対策を進めるセンターとしての役割をもつ婦人会館の建設は区の基本計画にうたわれたものと内容が大変違うのではないかと思う。建設面積の変更を含めてどのような機能をもつ婦人会館の建設構想をもっているか。

【答】婦人の自発的学習の促進と生涯教育と計画的な学習の機会等を提供するため、会議室、研修室、和室、図書資料室、料理室、多目的なレクリエーションホールなどを含む二千五百㎡の施設を検討している。

【問】北千住駅ビルに婦人会館を設置できないか

【答】婦人会館の建設予定地が未定だが、交通至便な北千住駅ビルに設置することは種々の観点からみて適地と考えられる。候補地の一つとして考えられないか。

【答】交通至便な場所に面積二千五百㎡の婦人会館を建設するについてなかなか適地がみつからない。北千住駅ビルに設置することはあらゆる女性の利便からみて適地とも考えられるので、候補箇所の一つとして検討してみたい。



【問】現代の青少年は自分の悩みを親、教師など周囲の大人に相談できずにいる。一方ラジオ等のテレホン相談にみられるように電話によるコミュニケーションは得意である。専門の電話と専任の相談員をおき電話相談の充実を図れ。

【答】警視庁の電話相談は二十四時間体制で行われている。足立区では教育センターで行っているが、主に親からである。適切な人員の確保、相談時間等難しい問題もあるが、教育センターでの電話相談体制を含め検討したい。

心身障害者休養ホームを建設せよ

【問】足立区としても世田谷区のように心身障害者とその家族に少しでも安らぎを与えるため心身障害者休養ホームを建設すべきではないか。

【答】心身障害者ホームは都の事業として実施している

婦人会館の建設構想を問う

【問】婦人対策を進めるセンターとしての役割をもつ婦人会館の建設は区の基本計画にうたわれたものと内容が大変違うのではないかと思う。建設面積の変更を含めてどのような機能をもつ婦人会館の建設構想をもっているか。

【答】婦人の自発的学習の促進と生涯教育と計画的な学習の機会等を提供するため、会議室、研修室、和室、図書資料室、料理室、多目的なレクリエーションホールなどを含む二千五百㎡の施設を検討している。

【問】北千住駅ビルに婦人会館を設置できないか

【答】婦人会館の建設予定地が未定だが、交通至便な北千住駅ビルに設置することは種々の観点からみて適地と考えられる。候補地の一つとして考えられないか。

【答】交通至便な場所に面積二千五百㎡の婦人会館を建設するについてなかなか適地がみつからない。北千住駅ビルに設置することはあらゆる女性の利便からみて適地とも考えられるので、候補箇所の一つとして検討してみたい。

政 区

共 産 党

人勧凍結をどう認識するか

【問】人勧凍結は公務員だけでなく恩給、年金受給者の生活を一層圧迫し、戦後最大といわれる不況に拍車をかけるものと考えるが、区長はどのように認識しているのか。

【答】現在の国家財政は危機的状況であり、財政再建は緊急課題である。これが達成のため人勧凍結宣言も止む得ない措置と考える。

老人保健法による精密検査は無料で行え

【問】老人保健法による老人医療の有料化と一般健診に反対し、精密検査は、無料で拡充する考えはないのか。

【答】老人保健法の趣旨は、国民が自助と連帯の精神に基づき、自ら常に健康の増進に努めるとともに、老人にも無理のない範囲で、その医療費のごく一部を負担してもらうものである。

都においては九月三十日に、「老人の医療費の助成に関する条例」が改正され、一部負担が認められた。

よって、法の趣旨からも国や都に老人医療の無料化制度復活を要求する考えはない。生業資金の貸付限度額を増額せよ

【問】生業資金の常時貸付けと貸付限度額の増額をはかる

考えはないか。

【答】常時貸付けは審査委員会の審査を要するため、事務処理上可能な限り貸付回数増加に努め、五十六年度以降回数を二回から三回に増やした貸付限度額は、現在の申請状況から、当面、現行の七十万円を増額する考えはない。



「浸透雨水マス」を設置せよ

【問】浸水対策については下水道の完備を待つだけでなく、一刻も早く対策を講じなければならぬ緊急課題である。

【答】他市では、用水浸透トレンチ方式で効果を上げているが、当区においても学校、公園、道路等に「浸透雨水マス」調整池「浸透舗装」などの抜本策を講じるべきと思うがどうか。

【答】ご指摘の「浸透雨水マス」、「調整池」方式は検討すべきものと考えている。

これらの方式の試験的施行により当区としての方法を研究したい。

訪問看護の認定を早くせよ

【問】寝たきり老人の訪問看護は、申請してから認定まで日数がかかりすぎる。もっと事務的に簡素化すべきであり、認定後は申請日にさかのぼって、訪問看護助成が受けられるよう検討すべきと思うがどうか。

【答】医師会に訪問看護の要否の調査依頼をするため、認定まで若干の期間を要するが、

期間の短縮は検討したい。

申請日にさかのぼっての訪問看護助成は考えていない。

【問】寝たきり老人は千五百人を上回っているが、入浴巡回対象者はわずか二百人たらずであり、直営車と委託車を増車し、対象車と回数を増やす考えはないか。

【答】回数増については今後、検討したい。



障害者の訓練所は福祉事務所単位に建設せよ

【問】障害者の訓練所及び作業所の建設について、東六月町の機能回復訓練所は計画どおり建設し、更に福祉事務所単位に一つずつ早期に建設すべきと思うがどうか。

【答】東六月町の心身障害福祉センター分室は五十九年度中に建築する予定である。

心身障害福祉センター及び福祉作業所の建築計画は、五福地区にそれぞれ一カ所を建設し、既に二カ所を建設している。

民 社 党

新自由クラブ

行政検討委員会を設置せよ

【問】今日、「行政の減量」「効率的経営」ということがきわめて大きな課題となつて

【答】当面は都財政検討委員会、第二次臨調の答申に行政運営の基本的姿勢が示されている。足立区の特性を踏まえて、既存の政策会議等を活用して事務事業の見直しを進めたい。

情報公開制を進めよ

【問】情報公開制は世論の流れからいっても、条例化は間違いないものと思うがどうか。

【答】「知る権利」を保障するため制度化を前提に情報公開制度検討委員会を設置した。

【問】東綾瀬公園にサイクリングロードやフィールドアスレチック等を設置し、休日などハイキング気分を親子づれで楽しめる公園を整備せよ

【答】東綾瀬公園は都が管理する公園であり、野球場や緑道を組み合わせたものである。サイクリングロードやフィールドアスレチック等につき、関係部所に要請したい。

「のれんわけ融資制度」を創設せよ

【問】当区の中小企業は下請孫請的な企業が多く、企業基盤はきわめて弱い状況にあり、そこに働く従業員の定着化を



社 会 党

わが党の予算に対する要望をどう理解するか

【問】臨調路線による国・都の施策は当然区政にも大きな影響を及ぼす。区民本位の区政で憲法を生かした施策を遂行しなければならぬ。この認識に立ちわが党の来年度予算に対する要望をどう理解しているか。

【答】各党の予算に対する要望で方針に沿うものは実施の立場で検討する。しかし行革は常に行う課題であり、この趣旨に反するものは困難である。これにより変化に対応した施策が行えるからである。

憲法を問う

【問】最近の憲法改悪の動きの中に「日本を守る国民会議」が結成され、草の根的、組織的運動を始めている。こうした動きをどう受け止めているか。また憲法小冊子を区民に配付する考えはないか。



【答】憲法論議が広く行われ、民主主義と平和を守ることは国民の責務であり、自治体の

長としては憲法を遵守し、行政を進めなければならないと考えている。憲法は義務教育でも取り上げられており、区民に十分理解されていると思う。

不燃化対策について問う

【問】不燃化助成制度の発足に向け補助百号線沿いのアンケート調査を進めていると聞くが、その集約、制度発足はいつ頃か。また、危険度の高い地域の対策はどのように進めるのか。

【答】アンケート調査は不燃化促進計画のため地域の環境評価や震災等の対応の意向をみるためのもので、集約は三月の予定である。運用は地域の合意を得て五十九年度を目標にしている。危険度の高い地域の対策は「防災まちづくりに基本計画策定調査報告書」に基づき順次実施の予定である。

民 生 党

今後の建設予定施設に駐車場を増やせ

【問】本区の足の便を考慮すれば、駐車場の整備は急務である。中央本町に建設予定の低層棟をはじめ、各種施設には四人一台の割合で駐車スペースを確保する考えはないか。

【答】駐車場を含む用地購入はむずかしく、自転車置き場や緑化対策も必要である。しかし自動車利用者対策は当然であり、今後の施設建設に際し施設内容、建設場所等を考慮してできるだけ広く駐車場の設ける努力をしたい。

教師の違法ストを中止させよ

【問】人勧凍結に反対して日教組委員長が違法スト宣言をした。区教委の内申は処分を量刑まで具申できないのか。

違法を子供にどう教えるのか。区教委、都教委は子供の将来を考へて指導しているか。

【答】区教委には身分上に関する内申権はないが、都内他市町村でも処分内容を含む内申は行っていないと聞く。学校教育の中では発達段階に応じた指導をしており、具体的問題について将来正しい判断ができる子供の育成をめざしている。

大型店に対抗できる商店街づくりのため相模原方式を取り入れよ

【問】スーパー対策や商店街活性化のために相模原市では「農林水産省食品、小売業近代化補助金」制度を活用するよう関係団体にすすめて実効

採択となったもの

- 小台・桜木工業地域擁護
- 四項工場制限法改正の要望書等提出
- 西新井駅前栄通交通安全等(二項)北端環七通りより南端日清紡績方向(全車輛の一方通行)
- 人工肛門・人工膀胱保有者に対する助成
- 西新井駅前栄通歩道整備等(一項)
- 西新井駅西口発全バス路線変更
- 千住本町地区の浸水除去
- 栗原地域水害防止
- 西新井一丁目及び栗原三丁目地域の水害防止
- 区道認定(佐野二二三二)
- 一八先平野三二三三五先
- 区有通路設置(西新井栄町二二三一九先、本木二一七一九先)

不採択となったもの

- たばこ・塩事業の専売制度維持存続
- 大幅減税要求・申告納税制度改悪反対
- 申告納税制度改悪反対・大幅減税

新たに提出されたもの

【答】食料品、小売業近代化補助金は、都を通じての間接補助であり、東京都商店連合会を通じて利用を打診したが、実現にいたっていない。活用されていないのはPR不足もあると思う。

【問】区道認定(中央本町四一)

【答】区道認定(中央本町四一)

【問】失対労務者越年資金支給

【答】失対労務者越年資金支給

【問】扇サンハイツの風害防止

【答】扇サンハイツの風害防止

【問】少年サッカー場建設

【答】少年サッカー場建設

【問】放射十一号線バス増発等

【答】放射十一号線バス増発等

【問】区有通路設置(関原二二三八一九先、関原二二三八一九先、西新井栄町二一七一九先)

【答】区有通路設置(関原二二三八一九先、関原二二三八一九先、西新井栄町二一七一九先)

【問】優生保護法の改正

【答】優生保護法の改正

【問】(仮称)谷塚大橋建設反対

【答】(仮称)谷塚大橋建設反対

【問】学校の文化行事に対する助成の増額

【答】学校の文化行事に対する助成の増額

【問】区道認定(中央本町四一)

【答】区道認定(中央本町四一)



区民の請願陳情

昭和56年度各会計決算に対する各党、会派の主張(要旨)

自由民主党 **認定**

厳しい財政事情のもと、重度身障者巡回入浴事業にみられる福祉行政の充実、鹿沼野外活動センターなどの教育施設の拡充強化、親水公園の造成等環境整備に力をそそぎ着実に行政実績をあげたことを高く評価する。

行政施策をいかに発展させるかが執行機関の大きな責務であると思う。この難局に区職員は多年培ってきた行政手腕を発揮し、全庁をあげ財政基盤の安定した足立区建設を切に望むものである。次の要望を付する。

○当面、都区財調堅持の立場で地域的、財政的に共通な区と連携をとり、不利益な財政措置を被らないよう配慮せよ。
○地場産業の育成など当区に即した施策を行い、経済を活性化し、税収増を図れ。
○行政機構の簡素化、事務事業の民間委託を推進して義務的経



決算特別委員会

公明党 **認定**

財政力指数は前年よりわずかの減少だが、経常収支比率をみれば財政健全化の努力がみられる。人件費比率も一・三%下っており同様の努力がうかがえる。とくに財調積立基金二億円の計上を評価する。しかし財政基盤の弱い体質をもつ当区に、その改善の一層の努力を要望する。区の基本計画達成率からみて区民要望にこたえるため積極的に事業達成に取り組みねばならない。現在、公債費比率が七%であるが、これを十%に引き上げて、まだまだ健全財政と考えるので、特別区債の弾力的運用が待たれる。さらにわが党の主張している新財源構想が実現するよう研究を進めてもらいたい。

共産党 **反対**

昭和五十六年度は国、都の財政再建の名のもとに連続減税見送り、福祉切り捨て、公共料金値上げ、福祉や教育施設の後退が行われ、そのしわよせを区民がかぶった。区政は区民生活を守り諸施策のレベルダウンを防ぐ努力をするのは当然である。しかし本決算において、国や都の財政再建への協力は長期的に当区にとりプラスであるとの考えから都財政肩代り、受益者負担の原則、有料福祉、コスト主義等を打ち出した施策が随所に表われている。○区民サービスのレベルダウン、○中小企業に対する不況対策不足、○胃ガン検診有料化、○単独学童保育室の児童館への機械的吸収、○障害者、老人対策について実態把握不十分、自立のための就労対策の不備、○就学援助レベルダウンと非行対策不足、○下水道早期完成の努力と雨水浸水対策の不十分等である。

社会党 **反対**

昭和五十六年度は酒税をはじめとする増税、行革と称し四十人学級の停止、私学助成の抑制、児童手当の制限強化など教育、福祉を切り捨てた年であり、当区も学校警備機械化、児童館などの民間委託、胃ガン検診の有料化等を強行した。これらは地域住民に選択保障がないものである。

民声クラブ **認定**

自主財源は五十六年度三八・八%と年々上昇しているが、依存財源が相変わらず高い比率を占めている。特別区交付金は前年より三十七億円の増であり努力の跡がみられるが、特別区税、保育園保護者負担金、国保保険

可決した主な議案

昭和五十六年度東京都足立区一般会計歳入歳出決算
昭和五十六年度東京都足立区国民健康保険特別会計歳入歳出決算
昭和五十六年度東京都足立区用地特別会計歳入歳出決算
(各会計決算の図解は第一面にあります。)

昭和五十七年度東京都足立区一般会計補正予算(第二号)歳入歳出予算の総額にそれぞれ三、一四二、三七九千円を追加するもの。
昭和五十七年度東京都足立区老人保健医療特別会計予算老人保健法の制定に伴い新たに特別会計(予算総額九八八、六三三、三〇〇千円)を設けるもの。
負担付き贈与にかかる財産の受入れについて
都住建設に伴い、都から児童遊園に供される土地(大谷田二一七二二、四九八、七四四㎡)を受け入れるもの。

条例関係

東京都足立区災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付けに関する条例の一部を改正する条例
「災害弔慰金の支給及び災害援護資金の貸付けに関する法律」の改正に伴い、新たに「災害障害見舞金制度」を設けるもの。

効率的行政のみが強調され、区民の生活、権利の保障の追求がない。○保育所本来の目的に従った建設及び保育内容の充実がされていない。○生活扶助基準は最低生活維持も苦しく、受給者が区民の批判を受けられないよう指導すべきだ。○国保会計では保険料値上げ全般の超過負担の増大等、都の負担の転嫁がみられ遺憾である。

例え一〇当区の一入当り区税収入が二三三区平均の半分であり、その要因の一つに公営住宅をあげているが、生活環境、文化施設整備の遅れこそ指摘すべきだ。○財産売却について耐用年数見直し、適正価格設定の検討がない。○

れたことを高く評価する。反面国保をはじめ、各種事務事業が財調割り込みで不安であったが、一応その不安は回避されたと判断する。また、区長の施政方針の効果的な施策への反映は、職員熱意によるところが大であるが、中にはそれを欠く者があつたことを指摘する。給食費、保育料等の多額の未収納分は多数の義務意識の乏しい人がいることの裏づけで、今後の啓蒙に期待する。

民声クラブ

一千億円を超える大型決算の中で、十九億円の買収支出の赤字を出したことは、おおむね効果的な執行で、健全財政そのものと考えられる。都区財調が概算方式に変わり、利害が相対する都心区との財源確保に努力さ

「足立区議会史」(有償頒布)の予約締切がせまりました

本年三月刊行予定の「足立区議会史」(有償頒布)の予約を受け付けております。締切日が近づいておりますので、急ぎお申込み下さい。おそくとも今月中にお願いします。

契約変更に

今定例会で可決した契約議案を○契約金額○相手方に分けて紹介します。契約方法はすべて指名競争入札です。
○四億九千五百万円 ○堀真・大昌建設共同企業体
東京都足立区立花畑集会所(仮称)新築工事請負契約
○二億五千六百万円 ○田中建設工業株式会社
花畑公園(仮称)新設(その一)工事請負契約
○五億一千万円 ○日比谷・竹内建設共同企業体

契約変更に

さきに議会の議決で締結した契約を設計変更が生じたため契約条項第十八条に基づき契約金額を変更するもの。
足立区梅島二丁目付近枝線その五工事及び掘削復旧工事請負契約の変更について
二億四千六百万円→二億八千四百三十五万円
足立区弘道一丁目・西綾瀬三丁目付近枝線工事及び掘削復旧工事請負契約の変更について
三億一千二百万円→三億六千万円
足立区青井二丁目・三丁目付近枝線その三工事及び掘削復旧工事請負契約の変更について
一億八千二百万円→二億九千五百万円
足立区西新井本町五丁目・西新井柴町三丁目付近枝線工事及び掘削復旧工事請負契約の変更について
一億二千九百万円→一億六千七百五十三万円

◎区有道路路線の認定

所在地	延長(m)	幅員(m)
扇一丁目地内	一六六・二四	四・〇〇〇五・一一
扇二丁目地内	一五九・九二	四・〇〇〇七・五〇
鹿浜四丁目地内	六七・四六	四・〇〇〇四・一一
西加平二丁目地内	六六・一三	四・五〇
足立四丁目地内	二八三・八一	二・五七三・五一
西綾瀬二丁目地内	六四・五二	二・九一一・三七
梅田四丁目地内	五九・九二	二・二二二・六三
梅田七丁目地内	一一〇・一九	二・四九三・七三
関原三丁目地内	七四・五五	一・八二二・六一

申込方法 ハガキに住所、氏名、電話番号、部数を記
問合せ先 議会史編集室
電話八二二二二
内線六六

次の定例会は三月に開かれます。